



キタテハ



ソヨゴ



ツチイナゴ



ジョウビタキ



メジロ



ヤブムラサキ



ヤマコウバシ

森の二十四節気

小雪 (11月22日～12月6日頃)

日に日に冷え込みが増し、冬の気配が近づいてくる季節です。冷たい風が吹き、木々の葉っぱを散らしていきます。虫たちも越冬に入り、姿も見つけにくくなってきますが、ツチイナゴやキタテハなど成虫の姿で冬を越す虫たちは、冬でも野原で見つける事ができます。森ではソヨゴの赤い実、ヤブムラサキの紫の実といった色々な実が実る季節。ぽかぽか陽気の「小春日和」には、木の実を探しながらお散歩

二十四節気とは…一年を二十四に等分し、天候や生きものの様子など、季節の変化を表す名前が付けられています。季節の訪れを知ることができるため、農作業に欠かすことができ

大雪 (12月7日～12月21日頃)

木の葉が散り終えて、雪もちらほら降り始める真冬を迎えます。葉が落ちた木々は、とまる鳥たちが観察しやすくなり、バードウォッチングの季節がやってきます。メジロやヤマガラを初めとした、一年を通して観察することのできる鳥たちに加え、冬になると森にやってくる冬鳥、ジョウビタキやアオジなどが観察できるように